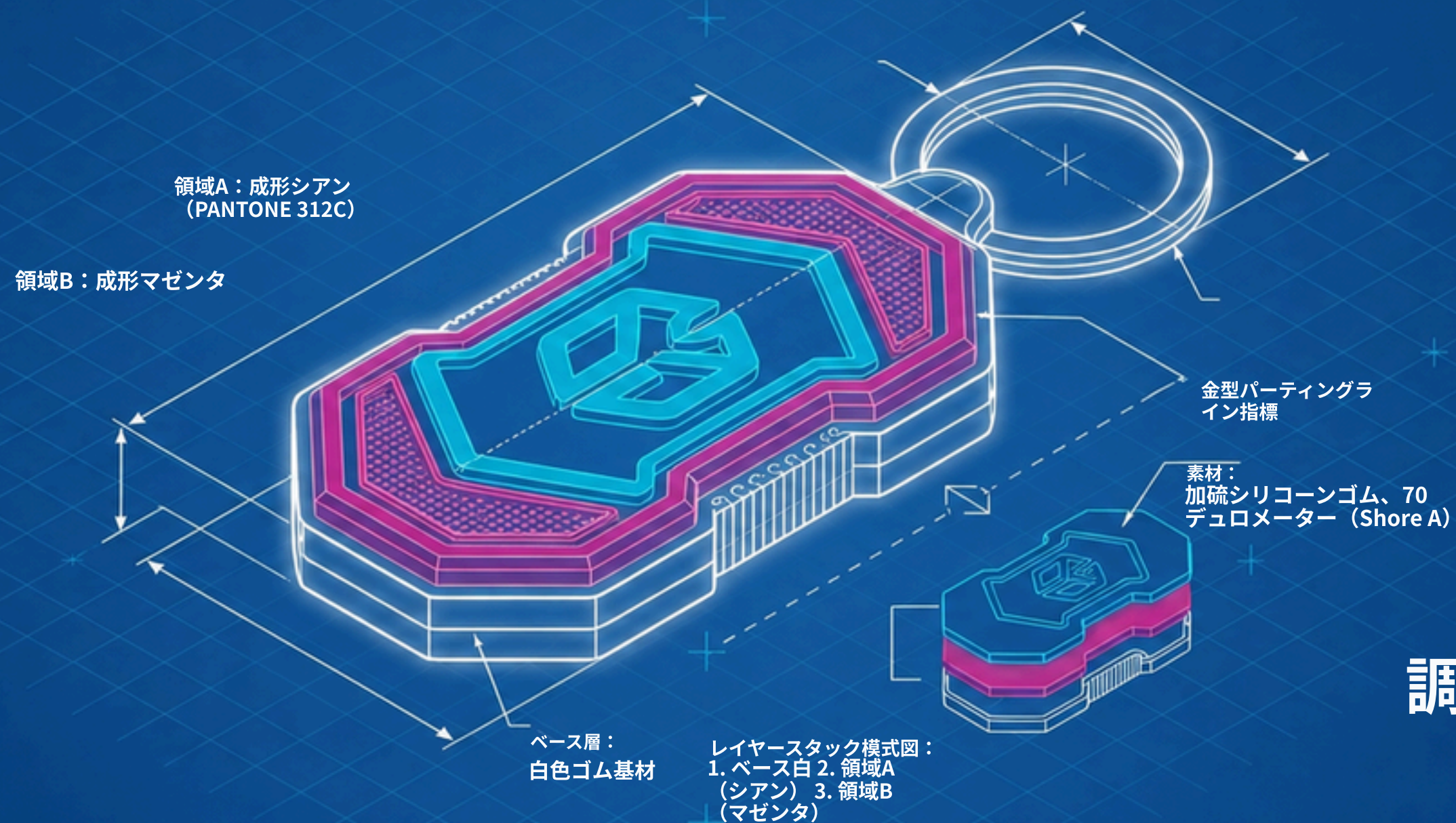


カスタムラバーキーチェーンの調達

メーカーのテックパック：金型を考慮した仕様のバイヤーガイド



調達承認済み

素材適合性マトリクス

デザイン寸法	柔軟な成形ゴム	硬質印刷アクリル	彫刻木材	ステッチ布	エナメル充填金属
柔らかな感触と柔軟なシルエット	✓	✗	✗	✓	✗
立体レリーフ	✓	✗	✓	✗	✓
明確に分離した大胆な色面	✓	✗	✗	✗	✓
極細文字への適性	✗	✓	✗	✗	✓
写真調グラデーション	✗	✓	✗	✗	✗
高級金属の重量感	✗	✗	✗	✗	✓



警告：写真調グラデーションや透明印刷層が必要なコンセプトでは、代替工法を相談すること。

仕様の構造：分解アイソメ図

金具：
キー金具とキーリングの向き

接続層：
埋め込みまたは取り付けコネクタ

浮遊アイランド：
隆起した色付き成形ディテール

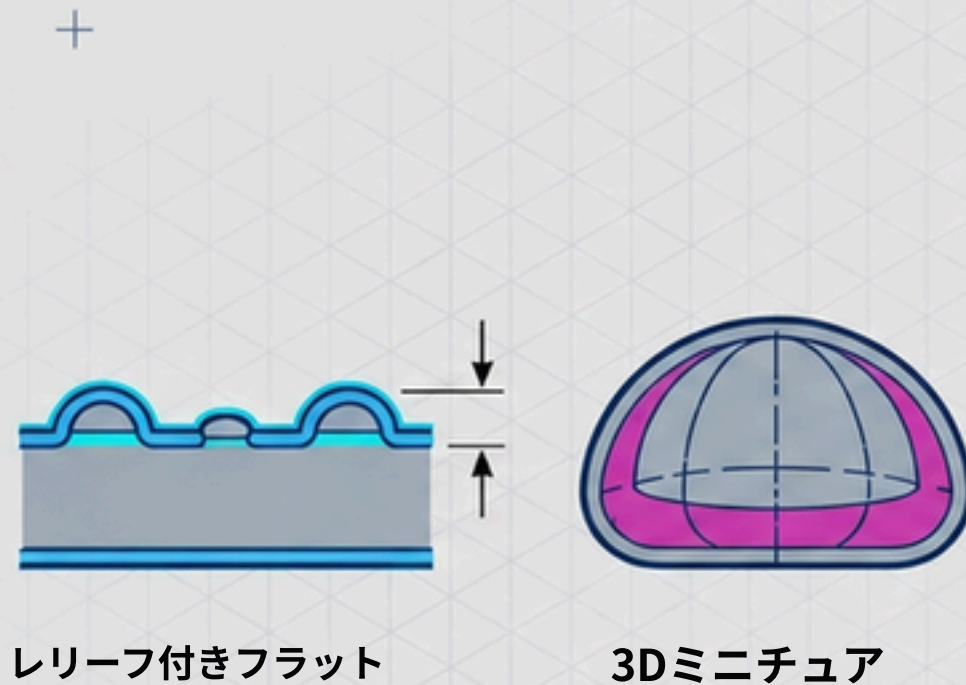
ベースボディ：
凹部とエッジプロファイルを示す柔軟成形ボディ

裏面：
無地、テクスチャ、表面
の反復模様、またはロゴ

仕様ID：KC-EXP-ISO-001

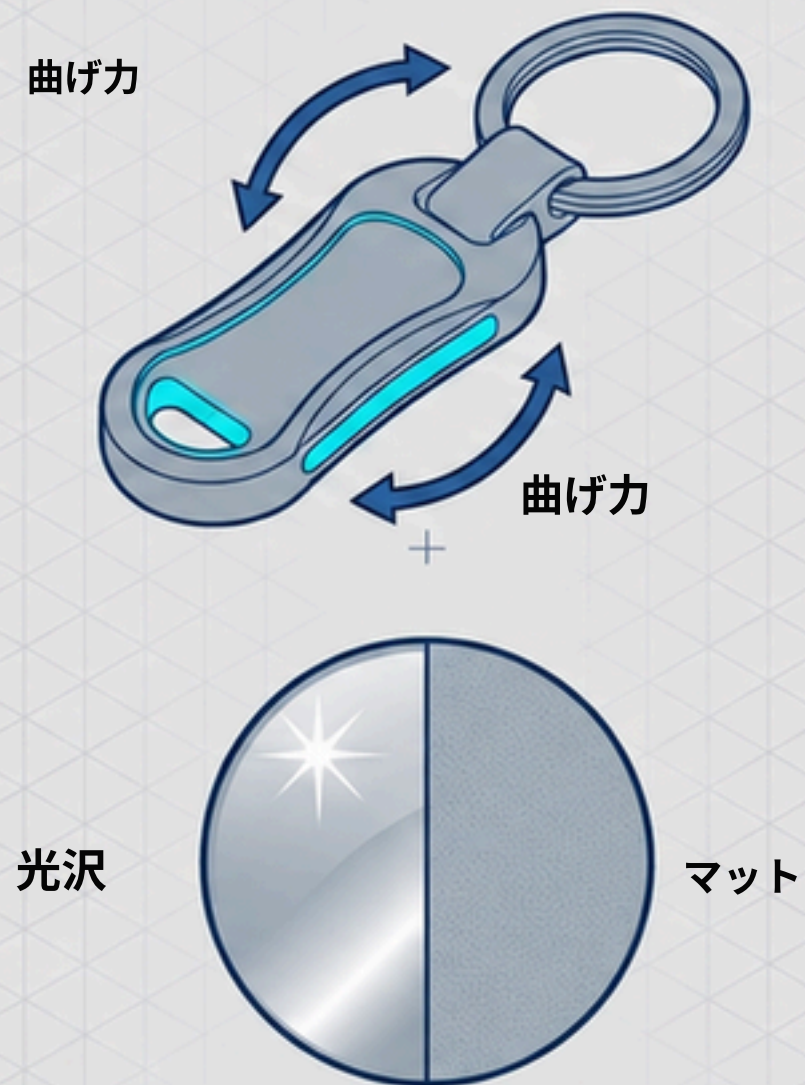
物理的プロフィールと形状を定義する

立体性



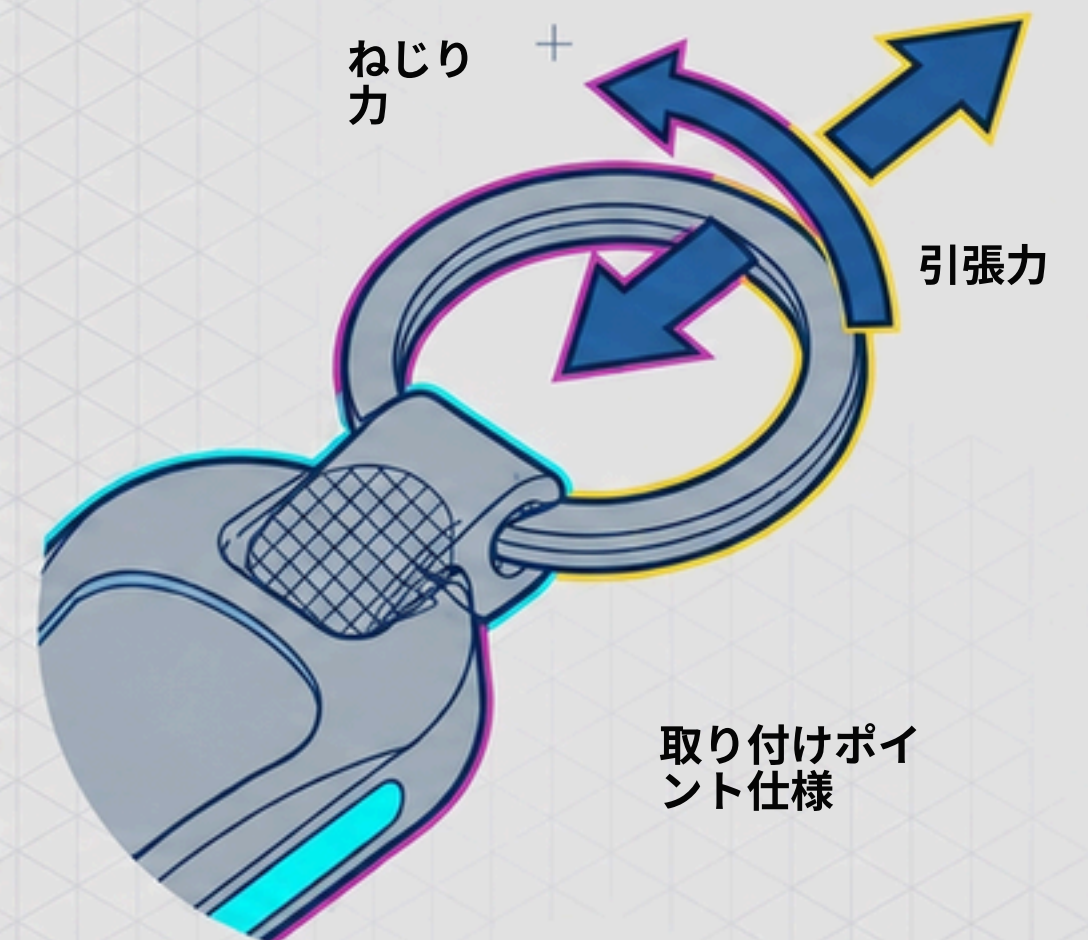
デザインがレリーフ付きフラット、両面、積層、または完全な3Dミニチュアかを定義する。

柔軟性と仕上げ



全体の柔軟性と望ましい表面外観（光沢／マット）を定義する。表面、裏面、エッジ処理を特定する。

金具の統合



コネクタの埋め込みまたは取り付け方法を指定する。ねじり、

引っ張り、または繰り返し使用に対して特定の物理テスト計画が必要か検討する。

金型のための設計：ベクター分離



悪い案：グラデーションと

写真ディテールを成形可能な領域に簡略化する。射出成形では個別の色材を用いて生産できない。



最上層：
イエロー金型
(VECTOR-Y)

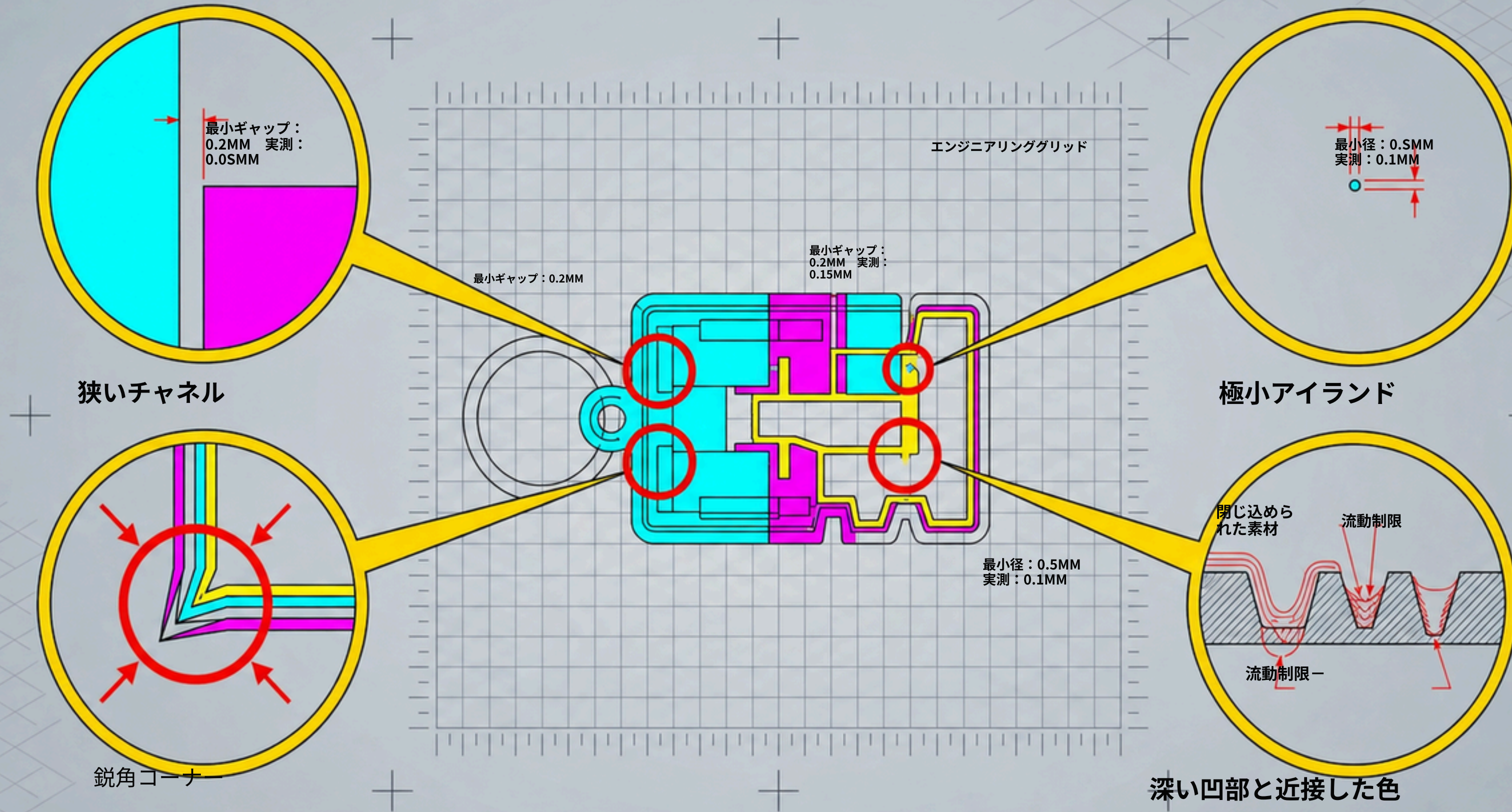
中間層：
マゼンタ金型
(VECTOR-M)

最下層：
シアン金型
(VECTOR-C)

金型対応案：クリーンなベクターアート

各成形色を別々のラベル付きレイヤーに配置する。正確な素材分離と金型製作を確保する。

形状の危険ゾーン：実現性を考慮した設計



成形色は個別領域である。サプライヤーは成形可能性を確認するため、これらの具体的な形状制約を検討すること。商標の比率を保持しつつ、最小フィーチャー制約を指摘できるようにする。

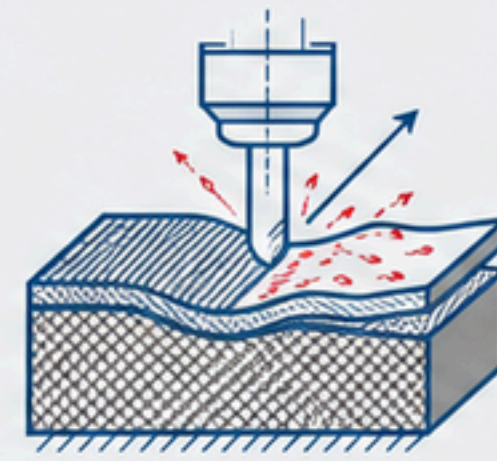
素材の安全性、コンプライアンス、性能試験



化学・安全コンプライアンス

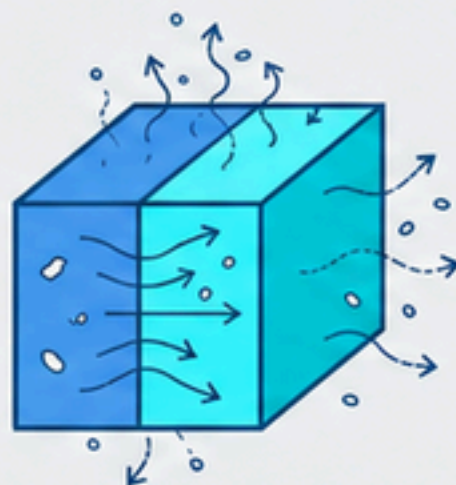
規制物質および子どもの安全性試験の要件。

想定市場とユーザー層を早期に開示する。



摩耗と劣化

物理的ストレス試験下での表面摩耗と取り付け性能を評価する。



臭気と移行 強い素材臭を試験し、隣接する成形層間の染料色移行を防止する。



カラーマッチング

一般的なコンパウンドや画面上の完全一致を想定せず、素材と色の提案を依頼する。

アートワーク仕様引き渡しパッケージ

アセット1：ラベル付きベクターレイヤー

隆起、凹み、背景、裏面、抜き、コネクター領域を区別する。

アセット2：カラーキー

個別成形色領域の精密なマップ。

アセット3：断面図

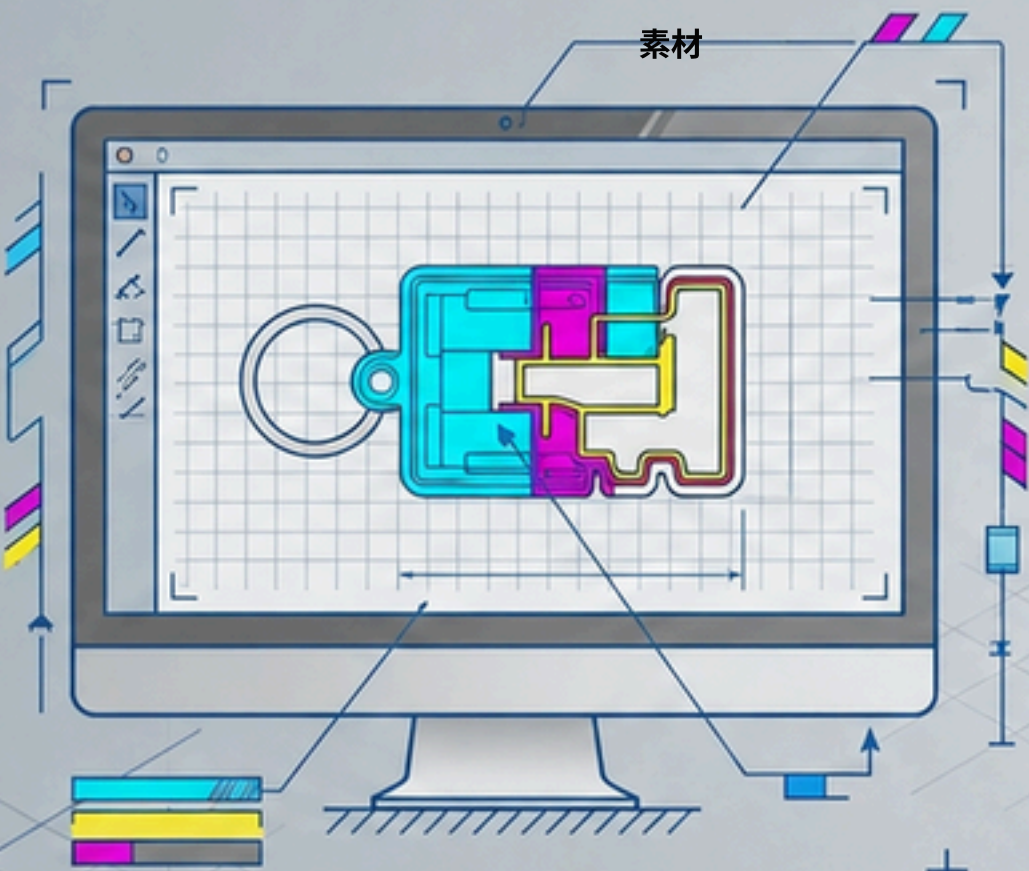
重要なレリーフ関係を示す断面図。

アセット4：スケールと向き

意図したキーリングの向きを明示する縮尺参照画像。

校正の進行：レンダリング対現実

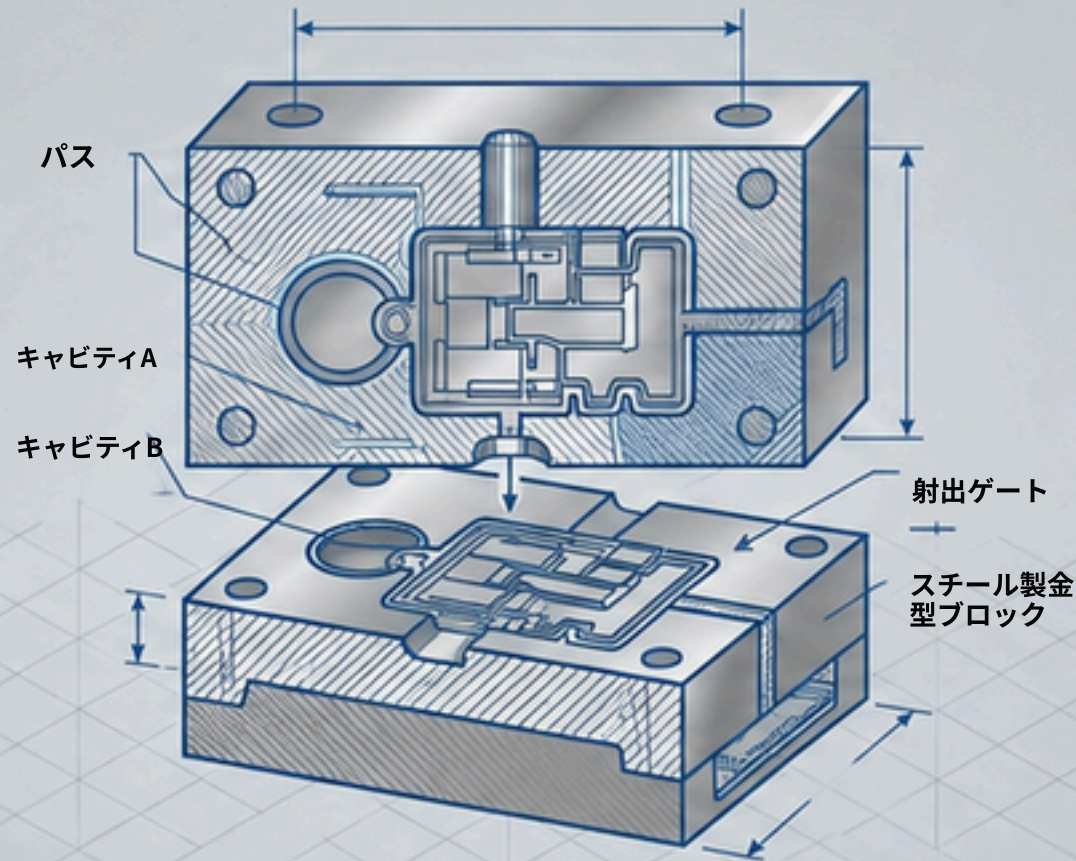
寸法レンダリング（平面）



レイアウトには有用だが、
感触とレリーフを伝えられない。



金型プルーフ（ツーリング）



素材射出前に形状と工具パス
を検証する。

実物試作サンプル



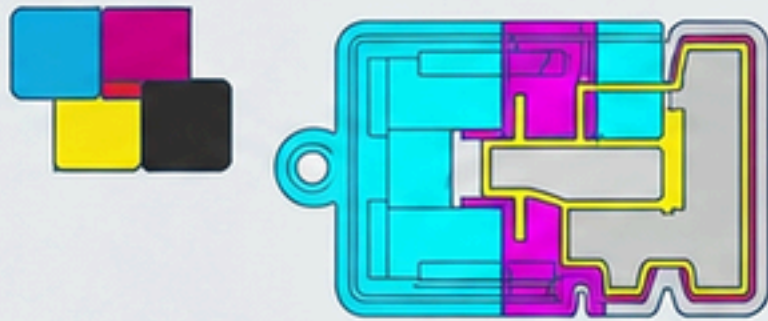
重要。レリーフ、柔軟性、色精
度、取り付け完全性の評価では、
平面レンダリングより実物サンプ
ルの方がはるかに有益である。



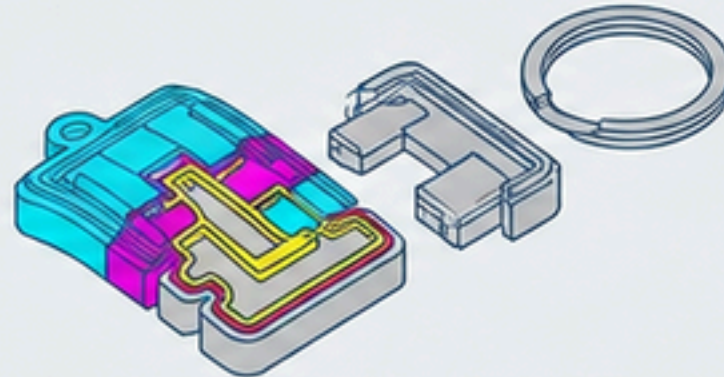
見積要因：数量と金型コスト

依頼総数量（デザイン、カラーウェイ、裏面デザイン、金具仕上げ別に指定）

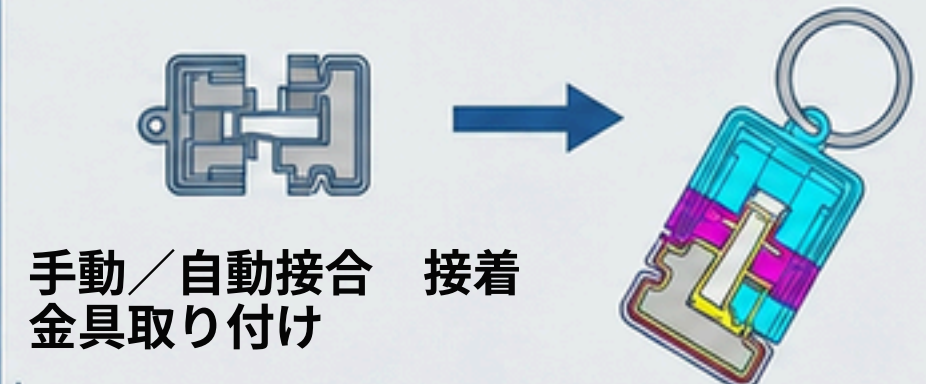
A. 色領域数



B. 個別コンポーネント



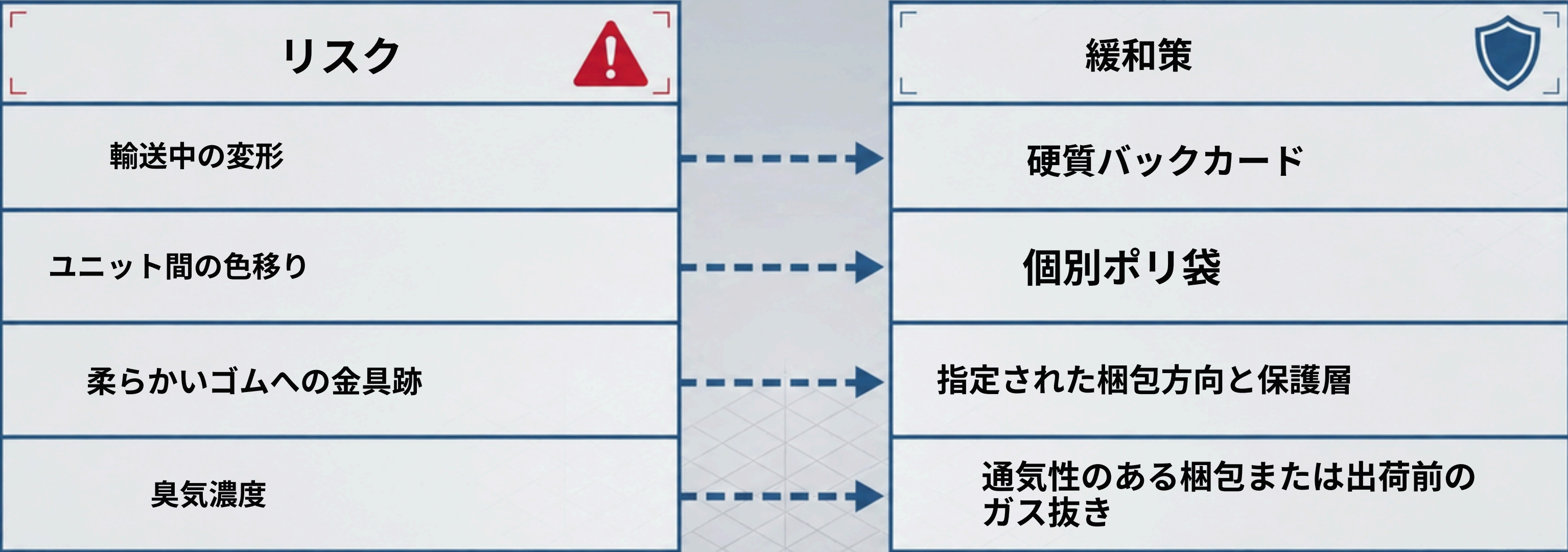
C. 組立要件



金型共有の質問 複数のカラーウェイがまったく同じ形状を使用する場合、技術確認を条件に金型を共有できるか尋ね、金型費を削減する。

注：リードタイムを想定せず、納品先と納品期間の要件を提示する。

包装上の考慮事項：リスクと緩和策



追加包装仕様 ラベル、バーコード位置、アソート、カートン
マークをRFQで明確に定義する。



統合：金型対応キーチェーン

素材の実現可能性

ベクター形状

統合ステートメント

成功するカスタムラバーキーチェーンは、プラスチックに印刷ロゴを貼っただけではない。構造要素の調和である。

ベクターアートが金型を決め、金型が形状を決め、形状が素材の実現可能性を定義し、包装が最終的な物理リリースを保護する。

最終的な技術上・商業上の確約には、これらすべての要素を一体で検討する必要がある。

構造的包装

金具の完全性



] 成形色とレリーフレベルを分離したベクターアートを提供する。

[] デザイン／カラーウェイ別の数量、納品先、納品要件を記載する。

[] 提案された柔軟素材と仕上げの特定を依頼する。

[] 表面、裏面、エッジプロファイル、柔軟性、吊り下げ方向を定義する。

[] コネクター構造、キー金具タイプ、動作、仕上げを確認する。

[] 微細形状、小さな文字、重要色、コンプライアンス要件を明示する。

[] 金型プルーフ、実物サンプル、関連性能試験計画を依頼する。

[] 梱包、バックカード、ラベル、アソート、カートンマークを指定する。

制限リマインダー：素材グレード、硬度、試験

評価を創作しない。サプライヤーに提案してもらい、あなたが承認する。

